

平成28年度第1回青森県立郷土館協議会について（会議概要）

平成28年度第1回の青森県立郷土館協議会が開催されましたので、その内容をお知らせします。

1 日時

平成28年7月4日（月） 午後1時30分～3時20分

2 場所

青森県立郷土館 小ホール

3 案件

- (1) 平成27年度事業実施報告
- (2) 平成28年度事業実施計画
- (3) 青森県立郷土館の博物館評価
- (4) その他

4 委員からの主な意見

- 学芸員全員が研究成果を研究紀要に執筆していることを、大いに評価している。郷土館は総合博物館であることを忘れずに、使命として継続してほしい。
- 土曜セミナーは大変充実しているので、青森市以外でも開催してほしい。そのことが郷土館をアピールすることにもなる。
土曜セミナーには、知的財産を県民に提示するというスタンスで、外部の力をさらに導入していくべきだ。
- 企画展「コウモリの不思議」は大人も子どもも楽しめるすばらしい展示であった。興味を引くキャッチフレーズが工夫されていた。しかし、この展示のテーマが、コウモリ研究者向山満氏の研究のすばらしさなのか、それともコウモリの不思議なのか、よくわからなかった。
- 特別展「刀剣魂」は、若い女性が刀剣に興味を持っているので、若者を取り込むよいチャンスとなる。
- 「新収蔵資料展」は、一部の展示は掘り下げた内容で大変心を惹かれたが、他の展示はこれというものがなかった。小学生でも注目するようなキャッチフレーズを付けてはどうか。
- 「出前授業」は、その体験が子どもたちの心に大いに残るものであり、また、そのことが子どもたちが郷土館に興味をもつことにつながっている。
- コーヒーコーナーは、郷土館の空間のよさを知ってもらうためにも必要だ。

- ファシリティマネジメント（不動産としての施設管理だけでなく、施設とその環境、そこを利用する人すべてを含んだ総合的な概念）の手法と空間デザインの手法を郷土館に取り入れることを検討してほしい。